EDIUS Pro 3 V3.5 補足マニュアル

canopus

(二) ご注意

- (1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- (2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本製品は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの点が ございましたら、当社までご連絡ください。
- (4) 運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- (6) 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解 析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアッセンブリを禁じます。
- (7) カノープス、CANOPUS/カノープス、EDIUS/エディウス、ProCoder およびそのロゴは、カノープス株式会社の登録商標です
- (8) Intel、Pentium、Xeon は、米国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標 または登録商標です。
- (9) HDV および、HDV ロゴはソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- (10) その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。

🔔 表記について

■本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。

- ■本書はパソコンの基本的な操作を行うことができる方を対象に書かれています。特に記載の無い操作については、 一般的なパソコンの操作と同じように行ってください。
- ■本書では、EDIUS Pro 3 や EDIUS シリーズを EDIUS と表記します。

▲ 警告

■ 健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニタに表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失など が引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでにされたことがない方でも、それが起こる体質をもって いることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたられる方は、本製品を使用 される前に必ず医師と相談してください。

■著作権について

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像/音声をキャプチャしたデータは、動画、静止画に関わらず個人として楽 しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、個人として楽しむ目的であっても複製が制限されて いる場合があります。キャプチャしたデータのご利用に対する責任は当社では一切負いかねますのでご注意ください。

> EDIUS Pro 3 V3.5 補足マニュアル July 26, 2005 Copyright © 2005 Canopus Co., Ltd. All rights reserved.

目次

マニュアルについてi	iii
本マニュアルの見かた	iii
コラムについて	i v

1章 追加機能

1. プロジェクト 1-2
プロジェクトの新規作成
[ノロンェクト設定] ダイアロク
2 操作面面 1-7
プレビューウィンドウ 1-7
3. [設定] ダイアログ 1-10
アプリケーション設定 1-10
ハードウェア設定
4 表材 (クリップ) 1–20
「4. 朱竹(クラフラ)
クリップの色分け
複数のビナオクリッフを一つにする 1-25 ツールの使用 1-27
5 CD/DVD からのキャプチャ 1–28
キャプチャできる形式
キャプチャ操作
6. トフックの設定1−34 トラックの削除 1−34
 トラックの設定
 トラックの設定
 トラックの設定
 6. トラックの設定
 トラックの設定
 トラックの設定
 トラックの設定 1-34 トラックの削除 1-34 タイムラインのプレビュー 1-35 Recorder の操作ボタン 1-35 クリップの有効 / 無効 1-37 レイアウト (クロップ) 1-38 エフェクト 1-42 [ホワイトバランス] ダイアログ 1-44 カラーデータの確認 1-46 ベクトルスコープ/ウェーブフォーム 1-46
 トラックの設定 1-34 トラックの削除 1-34 タイムラインのプレビュー 1-35 Recorder の操作ボタン 1-35 クリップの有効 / 無効 1-37 レイアウト (クロップ) 1-38 エフェクト 1-42 [ホワイトバランス] ダイアログ 1-44 カラーデータの確認 1-46 ベクトルスコープ/ウェーブフォーム 1-46 ボリューム調整 1-49
 トラックの設定 1-34 トラックの削除 1-34 タイムラインのプレビュー 1-35 Recorder の操作ボタン 1-35 クリップの有効/無効 1-37 レイアウト (クロップ) 1-38 エフェクト 1-42 [ホワイトバランス] ダイアログ 1-44 カラーデータの確認 1-46 ベクトルスコープ/ウェーブフォーム 1-46 ボリューム調整 1-49 オーディオミキサー 1-49
 トラックの設定 1-34 トラックの削除 1-34 タイムラインのプレビュー 1-35 Recorder の操作ボタン 1-35 クリップの有効/無効 1-37 レイアウト (クロップ) 1-38 エフェクト 1-42 [ホワイトバランス] ダイアログ 1-44 カラーデータの確認 1-46 ベクトルスコープ/ウェーブフォーム 1-46 ボリューム調整 1-49 ボリューム調整 1-49 エージョン 1-49 エージョン 1-49 エージョン 1-51
 トラックの設定 1-34 トラックの削除 1-34 タイムラインのプレビュー 1-35 Recorder の操作ボタン 1-35 クリップの有効/無効 1-37 レイアウト (クロップ) 1-38 エフェクト 1-42 [ホワイトバランス] ダイアログ 1-44 カラーデータの確認 1-46 ベクトルスコープ/ウェーブフォーム 1-46 ボリューム調整 1-49 オーディオミキサー 1-49 出力 1-51 形式の選択 1-51
 トラックの設定 1-34 トラックの削除 1-34 タイムラインのプレビュー 1-35 Recorder の操作ボタン 1-35 クリップの有効/無効 1-37 レイアウト (クロップ) 1-38 エフェクト 1-42 [ホワイトバランス] ダイアログ 1-44 カラーデータの確認 1-44 カラーデータの確認 1-46 ベクトルスコープ/ウェーブフォーム 1-46 ボリューム調整 1-49 オーディオミキサー 1-49 エンデンスポータ 1-51 ドはashVideo エクスポータ 1-53 デッキ制御できる機器へ出力 1-55
 トラックの設定 1-34 トラックの削除 1-34 タイムラインのプレビュー 1-35 Recorder の操作ボタン 1-35 クリップの有効/無効 1-37 レイアウト (クロップ) 1-38 エフェクト 1-42 [ホワイトバランス] ダイアログ 1-44 カラーデータの確認 1-46 ベクトルスコープ/ウェーブフォーム 1-46 ボリューム調整 1-49 オーディオミキサー 1-49 出力 1-51 形式の選択 1-51 FlashVideo エクスポータ 1-55 Quick Titler 1-61

<u>2 章 HDV キャプチャと出力/ MPEG キャプチャ</u>

1. HDV 形式をキャプチャ 2-2 動作環境 2-2 HQ キャプチャ 2-3 HDV キャプチャと HQ AVI ファイル変換
 用途に応じた推奨コーデック 2-18 推奨コーデック
3. HDV 形式を出力 2-20 MPEG-TS 形式のファイルを出力 2-20
 4. MPEG キャプチャ

マニュアルについて

本マニュアルの見かた

本書は、EDIUS Pro 3 (- V3.1 以降 -) に追加された機能を中心に、変更された機能などを補足説 明するマニュアルです。

EDIUS リファレンスマニュアル (- V3.0 の機能説明 -) の記載内容から、新たに追加された機能 (NEW!)、変更された機能 (UPDATE!) について、次の表記を使用しています。

▲ NEWI · 新機能

UPDATEL:変更になった機能

コラムについて

表記	内容
ご注意	特に注意していただきたい事柄を説明しています。
ご注意	
リファレンス参照	EDIUS リファレンスマニュアルに記載されている、関連する項目
リファレンス 参照	や参照ページを記載しています。
参照	本書の関連する項目について記載しています。
その他の方法	関連する操作方法を説明しています。
関連知識	関連する知識を説明しています。
ショートカットキー	キーボードにデフォルトで割り当てられている、ショートカッ トキーを使用した方法を記載しています。

EDIUS



追加機能

1. プロジェクト

1. プロジェクト

プロジェクトの新規作成

EDIUS を起動し、起動ダイアログで [New Project] ボタンをクリックします。 [プロジェクト設定] ダイアログが表示されます。



- 1 [プロジェクトファイル] エリアの [プロジェクト名] に、作業するプロジェクト名を入力します。
- **2** 作業するフォルダを変更する場合は、[...] ボタンをクリックして表示される [フォルダの参照] ダイアログで対象となるフォルダを指定します。
- 3 各項目の内容を設定します。
- **4** [OK] ボタンをクリックします。

操作画面が表示されます。

1. プロジェクト

[プロジェクト設定] ダイアログ



● プロジェクトファイル

【プロジェクト名】:
プロジェクトの名称を入力します。
【フォルダ】:
プロジェクトを保存する場所を指定します。
【出力デバイス】:
出力に使用するデバイスを選択します。
【プリセットの一覧】:
プリセットを選択します。[説明] に選択したプリセットのフレームサイズ、フレームレートなどの情報が表示されます。
【絞込み】でフレームサイズやフレームレートを指定すると、該当するフォーマットのみ「プリセットの一覧】に表示されます。

● 設定

[時間表示]:

ハードウェア設定が NTSC の場合、プロジェクト側のタイムコードをド ロップフレーム表示にするか、ノンドロップフレーム表示にするかを選 択します。

[CODEC] :

レンダリングやファイル出力に使用するデフォルトのコーデックを選択します。RGB、UYVY、YUY2 は非圧縮 AVI です。

[開始タイムコード]:

タイムライン先頭のタイムコードを入力します。

[予定全長]:

完成時の全長が決まっている場合に設定します。設定しておくと、予定全 長を超えた部分のタイムラインの色を変え、注意をうながします。 プロジェクトの全長をタイムコードで入力します。 [プロジェクト設定] ダイアロク

NEWI

[オーバースキャンサイズ]:

オーバースキャンを使用する場合は、比率を入力します。 入力範囲は「0」~「20」です。オーバースキャンを使用しないときは「0」 を入力します。

● トラック

[V/VA/T/A トラック]:

クリップを配置するトラック数を設定します。

[チャンネルマップ] ボタン:

ボタンをクリックすると [オーディオチャンネルマップ] ダイアログが表示され、各トラックのオーディオ出力チャンネルが設定できます。

[デフォルトとして保存]:

設定したトラック数をデフォルトとして保存します。

[絞り込み]:

フレームサイズとフレームレートを指定し、[プリセット一覧]に表示され る項目を絞り込みます。

[デフォルトとして保存] チェックボックス:

チェックを入れると、次の新規作成時から[プロジェクト設定]ダイアロ グが表示されず、替わりにプロジェクト名入力だけのダイアログが表示さ れます。[設定]ボタンをクリックすると[プロジェクト設定]ダイアログ が表示されます。



1. プロジェクト

オフラインクリップの復元

ビンに登録したクリップは、素材ファイルとリンクしています。プロジェクト ファイルを保存した後、素材ファイルを移動・削除した場合、そのファイルと リンクしていたクリップは[オフラインクリップ]となります。

以前作成したプロジェクトファイルを読み込んでいるとき、オフラインクリッ プが含まれていると次のようなメッセージが表示されます。

オフラインクリップ復元
ファイルが見つからないクリップが存在します 復旧方法を選択してください
全体をキャプチャして復日(A)
必要範囲のみをキャプチャして復旧(11)
キャプチャ済みのファイルを使用して復旧(上)…
オフラインクリップ復元ダイアログを開く(Q)
復元を行わない©

[全体をキャプチャして復旧]:

[バッチキャプチャ]ダイアログが表示されます。ファイル全体をキャプ チャします。

[必要範囲のみをキャプチャして復旧]:

[バッチキャプチャ]ダイアログが表示されます。タイムライン上で使用されている部分のみをキャプチャします。複数のオフラインクリップがある 場合、各オフラインクリップをキャプチャしたファイルに置き換えます。

[キャプチャ済みのファイルを使用して復旧]:

キャプチャ済みのファイルの中から、リール番号(Ubit)とタイムコード 範囲(In/Out 点間)が当てはまるファイルを検索します。ファイルが見つ からない場合、[オフラインクリップ復元]ダイアログで[フォルダ変更] ボタンをクリックし、検索先を変更することができます。復元を行う場合、 [オフラインクリップ復元]ダイアログで[全て復元]ボタンをクリックし ます。個別に復元を行う場合は、クリップ名を一覧から選択し、[復元]ボ タンをクリックします。

[オフラインクリップ復元ダイアログを開く]: [オフラインクリップ復元] ダイアログが表示されます。リンクが切れた ファイルを再リンクできます。

[復元を行わない]:

オフラインクリップの復元を行わず、EDIUS を起動させます。



4 V

1. プロジェクト





- ・参照 AVI ファイルをクリップとして登録している場合は、ファイルを移 動するとオフラインクリップになります。この場合、オフラインクリッ プを復元することはできません。
- ・EDIUS 以外のソフトウェアで作成したファイルは、キャプチャして復元 することはできません。

その他の方法

ご注意

いったんプロジェクトを読み込み、あとからオフラインクリップを復元す ることもできます。[プロジェクトを開く]のリストボタンから[オフライ ンクリップ復元]を選択します。

S album1	b b , a , b t b , b , b , c t c , c t c , c t c , c t c c , c c c c c c c c c c	
· S seconds · ·	プロジェクトを閉く(0). Ctrl + 0 プロジェクトのマージ(M0	
AVE AVE	オフラインクリップ復元(8)	
D Print	プロジェクトのインボートの	
2 VA	E:YmaterialYalbum1.epj E:YmaterialYCity3.epj	
P Poles	E.VSozal2004Y2004YFlower003.epj	
1 VA 🖪	Стпателаноктитројествер	

2. 操作画面

プレビューウィンドウ

プレビューウィンドウには、Player と Recorder の2種類があります。シングル モード時には [Player に切り替え] / [Recorder に切り替え] ボタンで表示ウィ ンドウを切り替えます。

[チャンネル / ファイルの選択] ボタンと [Track の選択] ボタンの大きさが伸 長され、ファイル名や入力デバイス名が認識しやすくなりました。

Player

- ・デジタイズ操作、クリップの作成
- ・素材データ・クリップの再生、および In 点 /Out 点の設定

動作中は、表示した素材データのカレント位置を保持しています。そのた めマッチフレームジャンプや別クリップのプレビューによりPlayerに他の クリップを表示させても、もう一度元のクリップを表示すると最後に表示 した位置の映像を表示します。

- Recorder
 - ・タイムラインの再生、およびタイムラインの In 点 /Out 点を設定



Player の操作ボタン 〉デュアルモード Recorder の操作ボタン



プレビューウィンドウ



[Player に切り替え] ボタン [Recorder に切り替え] ボタン



〉シングルモード

● EDIUS マーク

ウィンドウの EDIUS マーク EDIUSPR をクリックすると、ウィンドウのレイア ウトに関するメニューが表示されます。



• EDIUS アイコン

ウィンドウの EDIUS アイコン Particle をクリックすると、プレビューウィンドウのすべての設定メニューを表示します。

C EDIUSPro		
~機能(<u>F</u>)		
メインメニュー(M) プレーヤメニュー(P) レコーダメニュー(R) 設定メニュー(<u>S</u>)	F F F	
ツール(エ) 設定(エ) ヘルプ(H)	*	

2. 操作画面



ショートカットキー

すべての設定メニュー表示: [Shift] + [F1] キー Player のポップアップメニュー表示: [Shift] + [F4] キー Recorder のポップアップメニュー表示: [Shift] + [F5] キー

3. [設定] ダイアログ アプリケーション設定

タイムライン

= アラッケーション研究	916912	
しつめいろ 総裁和題 デキ結果 オフラインのかう理先 高度 マガラインームジャング アフリケーション かぶすイズ ・ パードウムプ規定	トランジシングのスフィード特別時にフリックを構成する(U) トランジシングのスフィード特別時に、フリックを構成する(U) ワロスフィード得入時に、デショルトランジンとん様入する(U) トランジシングのスクィートのなりまた(小売時間で)にそのジ 単称のロード時にコントレートを利用する(U) ジンジのの加加を開始(D)・シング加加する(U) ログ・クリックの加加を用のトラング加加する(U)	
- 799 Calif	□ ① ① ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	(01)))
	○ 71776712×1442 ○ 左綱(5) ○ 左綱(5) ○ ○ 左綱(5) ○ 左綱(5) ○	tur La
	Timeline 2 h 2 Out 2 Duration Orienal 2 h 2 Out 2 Duration	

[トランジション / クロスフェード操作時にクリップを伸縮する]: チェックを入れると、トランジション / オーディオクロスフェードをタイ ムライン上のクリップに設定した際、左右のクリップがそれぞれ伸びて重 なります(全体の長さは変わりません)。

[トランジション挿入時にデフォルトクロスフェードも挿入する]: チェックを入れると、VAトラック上でビデオクリップにトランジションを 設定した際、同じ位置のオーディオクリップにもデフォルトのオーディオ クロスフェードが同時に追加されます。

[クロスフェード挿入時にデフォルトトランジションも挿入する]: チェックを入れると、VAトラック上でオーディオクリップにクロスフェー ドを設定した際、同じ位置のビデオクリップにもデフォルトのトランジ ションが同時に追加されます。

[トランジション/クロスフェードのカットポイントを前寄りにする]: チェックを入れると、トランジションやオーディオクロスフェードのカッ トポイントを前寄りに設定します。例えば7フレーム分のトランジション を設定した場合、3フレームと4フレームの間にカットポイント(緑のラ イン)が設定されます。



[素材のロード時にフレームレートを補正する]: チェックを入れると、クリップをビン(またはタイムライン)に読み込む際、 自動的にクリップのフレームレートを補正します。プレビュー時にフレーム レート変換処理を行う必要がなくなるため、再生動作が軽くなります。 フレームレートの補正は、プロジェクトとクリップが次の組み合わせであ る場合のみ行われます。 29.97:30.00

59. 94 ÷ 60. 00 23. 976 ÷ 24. 00

[クリップの追加を指定のトラックに固定する]: チェックを入れると、クリップの振り分け時に、すでにクリップが存在す る場合は上書きします。チェックを外すと、自動的にあいているトラック に振り分けます。



NEWL

アプリケーション設定

● イベントにスナップする

チェックを入れると、スナップ機能を有効にします。 [操作対象]: スナップを行う操作対象を選択します。 [イベント]: スナップ先として表示されるイベントを選択します。 [トラック]: イベントの有効範囲を選択します。

● クリップのサムネイル

チェックを入れると、タイムライン上にあるクリップの端に In/Out 点のサムネイルを表示します。表示させない場合はチェックを外します。

[ウェーブフォーム]: タイムラインのウェーブフォームの表示方法を、[Log(dB)] または [Linear (%)] のどちらかに設定します。

● クリップのタイムコード

チェックを入れたタイムコードをクリップに表示します。

その他の方法

クリップのフレームレートは、クリップの [プロパティ] ダイアログで変 更できます。

ショートカットキー

クリップサムネイルの表示 / 非表示: [Alt] + [H] キー



リファレンス参照

- ・クリップの伸縮については、「伸縮・固定モード」P6-2 を参照してください。
- ・デフォルトのトランジションやオーディオクロスフェードの設定については、「デフォルトの設定変更」P8-4を参照してください。

カスタマイズ (コントロール)



[設定] ボタンをクリックし、[設定] を選択します。
 [設定] ボタン



2 [アプリケーション設定]の [カスタマイズ] から [コントロール] を選択 します。



● タイムコードの表示

プレビューウィンドウに表示するタイムコード項目([Current]、[In]、 [Out]、[Duration]、[Total])の表示 / 非表示を設定します。 [サイズ] から文字の表示サイズ([極小]、[小]、[中]、[大]、[極大])が 指定できます。

シャトルとスライダーの表示

プレビューウィンドウのシャトル、スライダーの表示 / 非表示を設定します。

● ボタン

プレビューウィンドウの操作ボタンの表示 / 非表示を設定します。 [サイズ] から、プレビューウィンドウとタイムラインにある操作ボタンの 表示サイズ([極小]、[小]、[中]、[大]、[極大])が指定できます。



アプリケーション設定

NEWI

カスタマイズ(キーボードショートカット)



[キー割当] ボタン: キー割当を設定する状態にします。

[割当無し] ボタン:

割り当てられたショートカットキーをクリアします。

[キーの複製] ボタン:

動作(機能)に複数のショートカットキーを割り当てる場合に使用します。 ショートカットキーを選択し、[キーの複製]ボタンをクリックすると、選択 中のショートカットキーを複製します。このときキー割当は、[割当なし]に 設定されます。

[キーの削除] ボタン:

ショートカットキーを削除します。ショートカットキーを選択し、[キーの削除] ボタンをクリックすると、選択中のショートカットキーを削除します。

*ショートカットキーが1つしか存在しない(複数のキー割当を行ってい ない)場合、[キーの削除] ボタンをクリックすることはできません。



[デフォルト]ボタン: キー割当を初期設定に戻します。

[インポート] ボタン:

「キーボードショートカット」の「ショートカットキー」の内容を読み込み ます。

インポートした内容を確定する場合は、続けて[適用]ボタンをクリック します。

[エクスポート] ボタン: 「キーボードショートカット」の「ショートカットキー」の内容を書き出し ます。

リファレンス リファレンス参照

アプリケーション設定

キーボードショートカットの設定については、「ショートカットキーのカス タマイズ」P3-42 を参照してください。

ハードウェア設定



ハードウェア設定

Canopus HQ Codec 設定 (Generic HDV 設定)



● Canopus HQ Codec 設定

[オンライン (SuperFine)]: 現在は選択できません。今後のアップグレード情報をご覧ください。

[オンライン (Fine)]:

最も高画質な設定ですが、ファイルサイズも大きくなります。高画質の取り込みが必要な場合に選択します。

[オンライン (標準)]:

通常はこの設定で十分な画質を得ることができます。

[オフライン]:

現在は選択できません。今後のアップグレード情報をご覧ください。

[カスタム]:

チェックを入れると、[Q]、[Max size] を調節することができます。

[Q] :

画質を調節します。4 から30 の間で設定し、少ないほど高画質になります。

[Max size]:

最大ビットレートを設定します。ノイズの多い画像はファイルサイズが不 用意に大きくなる場合がありますが、これを制限するように設定ができま す。設定値 [100]% は、コーデック圧縮前と同じビットレートを表します。 たとえば、1440 × 1080 60i で、100% は約 750Mbps です。この上限を 200Mbps に制限する場合は [27]% に設定します。

[標準の状態に戻す]:

*のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。

オーバーレイ設定 NEW! オーバーレイ設定 @ 9172@ @ 9173@ さには、EDOUSを再記約する必要がありま

オーバーレイが正常に表示されない場合、お使いの環境に合わせてオー バーレイの更新方法を選択します。[タイプ1]で正常に表示されない場合 は、[タイプ2]、[タイプ3]の順にお試しください。

プラグイン設定

クインARE AP止而エクスポータ

静止画エクスポータ

O Ddi Field O Even Field P2X016MEE(d)

[画像設定]: 映像を静止画として出力する際、出力されるフィールドを設定します。 [フィールド補間]: 出力されるフィールドの補間方法を設定します。 [アスペクトを補正]: 出力される静止画の縦横比を補正します。

[保存するファイルの形式]: 静止画として保存するファイルの形式を設定します。

関連知識

ここでの設定は、静止画クリップの書き出しや静止画エクスポータで出力 される静止画ファイルに反映されます。

リファレンス参照

静止画クリップの書き出しについては、「タイムラインから静止画クリップ の書き出し」P7-85、静止画エクスポータからの出力については「静止画エ クスポータ」P11-9 を参照してください。





NEW!\

プラグイン設定



プラグイン設定

Jog/Fader



オプションのジョグシャトルコントローラ、およびフェーダコントローラを使 用する場合にコントローラのポートへの割り当てや、ジョグシャトルコント ローラのボタンへのキー割り当てを行います。

使用方法は、コントローラ付属のマニュアルをご覧ください。



VST プラグインブリッジ設定



[追加]:
 VST プラグインのあるフォルダを指定します。
 [削除]:
 [VST プラグイン検索リスト]からフォルダを削除します。



VST プラグインの登録

- 1 VST プラグイン (VST の DLL) を、お使いのコンピュータ上の任意のフォルダ にご用意ください。
- **2** [設定] ダイアログを開き、[プラグイン設定] の [VST プラグインブリッジ 設定] を選択します。
- 3 [追加] ボタンをクリックし、[フォルダの参照] ダイアログで VST プラグインのあるフォルダを指定します。

```
フォルダが登録され、[VST プラグイン検索リスト]に表示されます。
```

1-18

4 EDIUSを一度終了し、再び起動します。

[Effect] パレットのオーディオフィルタに VST フォルダが登録されます。 VST フォルダから VST プラグインを選択することができます。

* 手順 3 で登録済みのフォルダに VST の DLL を追加した場合、フォルダの 登録を改めて行う必要はありません。

4. 素材 (クリップ)

ビンへの登録

タイムラインからの登録

トラックに配置したクリップをビンに登録できます。

1 登録するクリップ上の右クリックメニューから、[Bin に追加]を選択します。

	デュレーション(U) Binに追加(B) Bin検索(H) Playerで表示(Y) レイアウト(Q) 篇集(E)	Alt + U Shift + B Shift + Y Alt + L Shift + Ctrl + P Shift + Ctrl + E	
flower6a TLD	プロパティ(R) n0000 flower1a TL[n0	Alt + Enter	

その他の方法

- ・クリップ上にマウスカーソルを置き、そこからドラッグ&ドロップでビンに登録します。
- ・クリップをダブルクリックして Player に表示し、Player 上にマウスカー ソルを置き、そこからドラッグ&ドロップでビンに登録します。
- クリップをダブルクリックして Player に表示し、Player の [Bin に Clip 情報を反映] のリストボタンから [Bin にクリップを追加] を選択します。

[Bin に Clip 情報を反映] ボタン



リファレンス 参照

リファレンス参照



詳しくは「タイムラインからビデオクリップの書き出し」P7-83 を参照し てください。 関連知識

タイムライン上でクリップの In/Out 点を変更し、その情報をビン上のク リップに反映させる場合は、[Bin に Clip 情報を反映] ボタンをクリック します。



[Bin に Clip 情報を反映] ボタン

対応フォーマット

開始10: 終了TC・	00:00:00;00	In点TC: Out占TC:	:::
ake 」10: オーディオ長:	00:00:41;24	クリップ長:	
ᡔォーマット:	Audio File (D	irectShow)	
サンプリングレート:	48000 Hz		
チャンネル数: 量子化ビット数:	16	ウェーブ	情報の再取得(<u>R</u>)
一再生設定———			
◎ ステレオ再会	ŧ©		
● チャンネル1	のみをモノラル再	生(1)	
● チャンネル2	のみをモノラル冉	生(2)	

> クリップのプロパティダイアログ

DolbyDigital AC-3のDirectShow Filter がシステムに存在する場合、AC-3の 対応が可能です。



4. 素材 (クリップ)



登録情報の出力

ビンに登録したクリップの情報を HTML ファイルに出力します。

1 ビンウィンドウのフォルダビューの右クリックメニューから、[HTML出力]を 選択します。



[名前をつけて保存]ダイアログが表示されます。

2 ファイル名や出力の設定を行い、[保存] ボタンをクリックします。

名前を付けて保存				22
(単位する場所)(中 単近使ったファイル デスのトッフ	24 842504 24 8094 24 854 24 854 24 82-090		<u>≓</u> 0 \$ 17 ⊡ -	
24 FR1504				
71 2017-0	77イル名物 77イルの種類型	In Haity-(& Older	×	(編件の) 年を2世ル
	スタイルシートを指定す フラウザを起動する(E)	Contraction		

スタイルシートを使用し、お好みのスタイルで表示可能です。

4. 素材(クリップ)

クリップの色分け

ビンやタイムラインのクリップに色を付けることができます。色を設定したク リップをタイムラインに配置したりビンに登録した場合でも、その色を保持し ます。

ビンに表示されているクリップ

ビンに表示されているクリップに色をつけて分類します。



- **1** クリップを選択します。
- 2 右クリックメニューから [クリップ表示色]を選択し、色を指定します。



4. 素材 (クリップ)

タイムラインに配置されているクリップ タイムラインに配置されているクリップに色をつけて分類します。



- 1 クリップを選択し、右クリックメニューから [プロパティ]を選択します。
- 2 [ファイル情報] タブの [クリップ表示色] から色を指定します。



4. 素材(クリップ)

複数のビデオクリップを一つにする

- 複数のビデオクリップを一つのシーケンスクリップにすることができます。
- 1 複数のビデオクリップを選択します。



2 選択したクリップの右クリックメニューから [シーケンス化] を選択します。



シーケンスクリップとして登録されます。



*シーケンスクリップにすると、元のクリップが持っていた In/Out 点の設 定は無効になります。

4. 素材(クリップ)

関連知識

シーケンスクリップを元に戻すには、クリップの右クリックメニューから [シーケンス解除]を選択します。



*シーケンス解除後のクリップ名は、先頭のクリップをベースにした連番 のクリップ名になります。

リファレンス参照

静止画クリップのシーケンス化については、「連番静止画クリップの登録」 P4-7 を参照してください。

ツールの使用

ツールの呼び出し

ビンウィンドウの [ツール] ボタンから、ツールの実行ができます。



参昭

💌 📄 root (0/0]

- ・MPEG キャプチャについては、「HDV キャプチャと HQ AVI ファイル変換」 P2-6、または「4.MPEG キャプチャ」P2-26 を参照してください。
- ・MPEG TS Writer については、「MPEG-TS 形式のファイルを出力」P2-20 を 参照してください。

リファレンス参照

- ・EDIUS Watch については、「クリップの自動登録」P4-10 を参照してくだ さい。
- ・DISCcapture については、「4. CD/DVD からのキャプチャ」P5-25 を参照し てください。
- EDIUS アイコン

ウィンドウの EDIUS アイコン をクリックすると、ビンのすべての設定メ ニューを表示します。

▲ 機能(E)		root (0/0)
ッ <i>ー</i> ル(<u>o</u>)	•	
ヘルプ(圧)		

ショートカットキー

[Shift] + [F3] +-



参照





シールの使用

5. CD/DVD からのキャプチャ

EDIUS に付属の "DISCcapture" を使うと CD/DVD ディスクの映像や音声を取り込むことができます。

ご注意

コピープロテクションのかかったディスクからはキャプチャできません。

キャプチャできる形式

• Audio CD

WAV ファイルとして取り込みます。

• DVD-Video

MPEG2 ファイルとして取り込みます。

• DVD-VR

MPEG2 ファイルとして取り込みます。

関連知識

DVD-RW と DVD-RAM の DVD-VR 形式に対応しています。

ご注意

淡

キャプチャ操作

1 プレビューウィンドウのEDIUSアイコンをクリックし、[ツール]から[DISCcapture] を選択します。

"DISCcapture" が起動します。

G EDIUSPro		-
機能(<u>F</u>)	Þ	
メインメニュ <i>ー</i> (<u>M</u>)	•	
プレ <i>ー</i> ヤメニュ <i>ー</i> (<u>P</u>)	(b .)	
レコーダメニュー(<u>R</u>)	•	
設定メニュー(S)	•	
		MPEGキャプチャ
nxxE\ <u>1</u> /		
	ſ	MPEG TS Writer
		Disccapture

2 キャプチャに使用するドライブを選択し、ディスクをセットします。

ディスク内の情報がリストに表示されます。挿入するディスクによって表 示内容が異なります。

		因为这办理度	10.00 Mail	
1992	10101-012	長さ	947	~
21	0.02.00	16212	18.87 MB	
22	16412	1:34:00	15.81 MB	
23	32812	36863	40.18 MB	
24	727:00	0.46:25	7.79 MB	
26	81325	21762	23.19 MB	
26	1031:12	1:46:48	17.94 MB	
27	121760	1:47:10	18.02 MB	
8	140470	01647	2.00 MB	
29	14:21:42	21030	21.94 MB	-
10	1631-72	30103	30.46 MB	
211	1933-00	0.22:32	3.77 MB	
212	1955.32	1:25:58	14.43 MB	
13	21:21:15	253:02	29.11 MB	
214	241417	1:11:58	12.07 MB	
15	2526:00	21937	23.47 MB	
16	27.45:37	1:4450	17.61 MB	
D117	29/30:12	1/22:30	1386 MR	

> Audio CD をセットした場合

5. CD/DVD からのキャプチャ

3 キャプチャするトラックにのみチェックを入れ、[設定] ボタンをクリックします。

	課	み込み速度	Ref. d	
1590	1151649105	長さ	91X	
	0.02.00	16212	18.87 MB	
22	16412	1:3400	15.81 MB	
23	32812	36863	40.18 MB	
04	72700	0.4625	7.79 MB	
05	81325	21762	23.19 MB	
06	1031:12	1:46:48	17.94 MB	
07	121760	1:47:10	18.02 MB	
08	140470	01647	2.80 MB	
09	142142	21030	21.94 MB	-
10	16:31:72	30103	30.46 MB	
1 11	19:33:00	02232	3.77 MB	
112	1958.32	1:25:58	14.43 MB	
13	21:21:15	253-02	29.11 MB	
14	241417	1:11:58	12.07 MB	
115	25/26/00	21937	23.47 MB	
16	27.45:37	1:4450	17.61 MB	
117	29/30/12	1/22/30	1386 MR	

*リスト上の右クリックメニューから [すべてのトラックの選択状態を解除する]を選択すると、すべてのチェックが解除されます。

13	21:21:15	2:53:02	29.11 MB	
14	24:14:17	1:11:58	12.07 MB	
15	25:26:00	2:19:37	23.47 MB	
☑ 16	このトラックを	1701 HB	~	
	取り込みを開		8	
	すべてのトラ	すべてのトラックを選択する(A)		
	すべてのトラ	ックの選択を解除	(する(E)	

関連知識



トラックを選択し、[再生] ボタンをクリックすると、曲を再生することが できます。

13	21:21:15	2:53:02	29.11 MB	
14	24:14:17	1:11:58	12.07 MB	
15	25:26:00	2:19:37	23.47 MB	
16	27:45:37	1:44:50	17.61 MB	
17	29:30:12	1:22:30	1386 MB	~
トラック 16 車	厚生中 (00:10)			
4 ファイル名の指定方法や分割方法などを設定したあと[OK] ボタンをクリックします。



5 [取り込み] ボタンをクリックします。

キャプチャを開始します。ファイル名の指定方法で [取り込み時にファイ ル名を指定する] に設定した場合は、[ファイルを保存] ダイアログが表示 されますのでファイル名と保存先を設定します。

	I.	办込み速度	And	
1592	10101910	長さ	947	-
1	0.02:00	16212	18.87 MB	
22	16412	1:3400	15.81 MB	
23	32812	36863	40.18 MB	
4	727:00	04625	7.79 MB	
05	81325	21762	23.19 MB	
06	1031:12	1:48:48	17.94 MB	
7	121760	1:47:10	18.02 MB	
08	14:04:70	01647	2.00 MB	
9	1421:42	210:30	21.94 MB	-
10	16:31:72	30103	30.46 MB	
11	193300	022-32	3.77 MB	
12	1955.32	1:25:58	14.43 MB	
113	21:21:15	253-02	29.11 MB	
14	241417	1:11:58	12.07 MB	
15	252600	21937	23.47 MB	
16	2745:37	1:4450	17.61 MB	
117	29/30:12	1/22/30	1386 MR	

[取り込み] ボタン

6 キャプチャ完了後は、メッセージを表示しますので [OK] ボタンをクリックします。



5. CD/DVD からのキャプチャ

その他の方法

リスト上の右クリックメニューから [このトラックを取り込む] を選択し てキャプチャします。[取り込みを開始する] を選択するとチェックが入っ ているトラックをすべてキャプチャします。

関連知識

- ・ExtraCD をセットした場合、オーディオトラックのみが表示されます。
- ・ドライブからの読み込み速度が調節できます(ドライブがサポートしている範囲のみ)。キャプチャ時にノイズが発生するときは、速度を落とすと改善される場合があります。

[設定] ダイアログ

<u>該正</u>
「ファイル名の指定方法
● 取り込み時にファイル名を指定する。
● 自動的に名前を生成する。
○ ベースファイル名とトラックから名前を生成する。
ベースファイル名: Track
- ファイル保存デオ クトリの指定
Carrogram P. Kol-Campurel, St. Capturel
CD取り込み時のレベル変更
B B
DVD Video 取り込み時の分割方法
DVD Video 取り込み時の分割方法 ① ブログラム単位 ② チャブタ単位
DVD Video 取り込み時の分割方法 づログラム単位 OVD-VR 取り込み時の分割方法 DVD-VR 取り込み時の分割方法 DVD-VR 取り込み時の分割方法
DVD Video 取り込み時の分割方法 ・ ・ ・

● ファイル名の指定方法

取り込み時のファイル名の指定方法を設定します。次の3種類から選択します。

[取り込み時にファイル名を指定する。]:

トラックごとにファイル名を指定します。

[自動的に名前を生成する。]:

現在の日時とトラック番号を組み合わせて、自動的にファイル名を生成します。

[ベースファイル名とトラックから名前を生成する。]: ベースファイル名とトラック番号を組み合わせて、自動的にファイル名を 生成します。

[ファイル保存ディレクトリの指定]: 取り込んだファイルを保存するディレクトリを指定します。

[CD 取り込み時のレベル変更]:

CD取り込み時に音声レベルをdB単位で変更します(0dBから-40dB)。

[DVD Video 取り込み時の分割方法] / [DVD-VR 取り込み時の分割 方法]:

キャプチャ時の分割方法をそれぞれ指定します。通常は[プログラム単位] を選択します。[Cell単位]を選択するとファイルを細かく分割できます が、ストリームによっては取り込んだ際に再生できないMPEGファイル(MPEG の規格に満たないファイル)が作成される場合があります。

6. トラックの設定

トラックの削除

削除する位置のトラックパネルの右クリックメニューから、[トラックの削除]を選択します。

確認ダイアログが表示されます。

トラックパネル 3 VA 2 VA トラックの高さ(止) トラックの追加(A) トラックの複製(1) トラックの複製(1) トラックの移動(M) 1 VA 名前の変更(R)

関連知識



 Tトラック、もしくは Vトラック(または VA トラックのどちらか)は、 タイムラインのトラック上からすべて削除できます。他のトラックについては、タイムライン上に必ず1トラックは表示されます。



トラックパネルの空白部分で右クリックすると、トラックを追加するメニューが表示されます。



Recorder の操作ボタン



[停止] ボタン:

タイムラインの再生を停止します。

[巻き戻し] ボタン:

タイムラインを巻き戻します。再生中にこのボタンをクリックした場合、 逆方向に4倍速、または12倍速で再生します。クリックするごとに4倍速 と12倍速が切り替わります。

[前のフレーム] ボタン:

クリックするごとにタイムラインを逆方向に1フレームずつ戻します。

[再生] ボタン:

タイムラインを正方向に再生します。再生中にクリックした場合、一時停止します。

[次のフレーム] ボタン:

クリックするごとにタイムラインを正方向に1フレームずつ進めます。

[早送り] ボタン:

タイムラインを早送りします。再生中にこのボタンをクリックした場合、4 倍速、または12倍速で再生します。クリックするごとに4倍速と12倍速 が切り替わります。

[ループ再生] ボタン:

タイムラインの In 点と Out 点の間を繰り返し再生します。In 点を設定 していない場合は、タイムラインの最初から、また Out 点を設定してい ない場合は、タイムラインの最後までを繰り返し再生します。 リストボタンからタイムライン全体のループ再生を選択することもでき ます。

[Timeline カーソルの周辺を再生] ボタン: タイムラインカーソルの前後を再生します。

[1 つ前の編集点に移動] ボタン:

タイムラインカーソル位置から左方向の編集点にタイムラインカーソルが 移動します。

[次の編集点に移動] ボタン:

タイムラインカーソル位置から右方向の編集点にタイムラインカーソルが 移動します。

関連知識

再生処理が重い場合は、次の方法をお試しください。

- ・[Shift] キーを押しながら [再生] ボタンをクリックする。一時的に再 生用バッファをためてから再生します。
- ・クリップやタイムラインの一部をレンダリングする。

タイムラインの先頭へタイムラインカーソルを移動させるにはキーボードの [Home] キーを、タイムラインの終端へタイムラインカーソルを移動さ せるにはキーボードの [End] キーを押してください。

ショートカットキー

```
停止: [K] キー、[Shift] + [Down] キー

巻き戻し: [J] キー

早送り: [L] キー

再生: [Enter] キー、[Space] キー

\mu - \eta = 1: [Ctrl] + [Space] キー

前のフレーム: [-] キー

前の10フレーム: [-] キー

次のフレーム: [-] キー

次の10フレーム: [Shift] + [-] キー

前の編集点へジャンプ: [PageUp] キー

次の編集点へジャンプ: [PageDwn] キー

* [L] キーを2回押したあと [J] キーを押すと、通常の速度で再生しま

す (減速)。
```



リファレンス

リファレンス参照



- ・Player でのプレビュー操作については、「ソースのプレビュー」P5-3 を 参照してください。
- マウスでのプレビュー操作については、「マウス」P7-68 を参照してください。
- ・レンダリング方法については、「タイムラインの一部をレンダリング」P7-77、「クリップのレンダリング」P7-81を参照してください。
- ・表示させるボタンの指定については、「操作ボタンの配置」P3-26 を参照してください。

クリップの有効 / 無効

タイムラインに配置したクリップを無効にできます。無効にされたクリップは、 プレビュー時に表示されません。

- 1 クリップを選択します。
- 2 右クリックメニューから [有効/無効]を選択します。選択するたび、有 効/無効を切り替えます。

	A 20 A AMALINA (T)	conner + coerr + r	
	有効/無効(E) これのみ有効(O)	Ctrl + N Shift + Ctrl + N	
	L 3.805.8(c)		
		Shift + T	
	速度(E)	Alt + E	
	デュレーション(U)	Alt + U	
	Bin(こ追加(B)	Shift + B	
	Bin検索(H)		
	Playerで表示(Y)	Shift + Y	
r B 📭	レイアウト(<u>0</u>)	Alt + L	I
		Shift + Ctrl + P	
00		Shirt * Gtri * E	
E fla	ブロパティ(<u>R</u>)	Alt + Enter	

無効になったクリップは、全体が白っぽく表示されます。



関連知識

リンクやグループが設定されている複数のクリップのうち、選択したク リップのみ有効にすることができます。クリップを選択し、右クリックメ ニューから[これのみ有効]を選択します。

NEWI

レイアウト(クロップ)

1 タイムラインの VA、または V クリップのビデオ部分の右クリックメニューから [レイアウト] を選択します。

(Bin検索(H) Playerで表示(Y) レイアウト(Q) 関く(ロ)	Shift + Y Alt + L Shift + Ctrl + P	
	編集(E)	Shift + Ctrl + E	
horse TL[in:00:00 horse TL[in:00:00:01:14	プロパティ(<u>R</u>) ^{0101 000}	Alt + Enter	
norse Trunococor,14			

[ビデオレイアウト] ダイアログが表示されます。

2 Recorder を参照し、レイアウトを [ビデオレイアウト] ダイアログで調節 します。



[クリッププレビュー]:

クリップの映像を表示します。クロップ範囲のポイント(8箇所)をドラッ グし、表示範囲を変更します。

[タイムラインプレビュー]:

タイムラインの映像を表示します。クロップ範囲をドラッグすると位置を 変更します。また、クロップ範囲のポイント(8箇所)をドラッグし、表 示倍率を変更します。

● 矩形

表示範囲を設定します。表示させない部分をカットするような使いかたが できます。

[左]:

クリップの元の幅を基準に、左側から表示しない範囲をパーセント単位で 設定します。

[上]:

クリップの高さを基準に、上側から表示しない範囲をパーセント単位で設 定します。

[右]:

クリップの元の幅を基準に、右側から表示しない範囲をパーセント単位で 設定します。

[下]:

クリップの高さを基準に、下側から表示しない範囲をパーセント単位で設 定します。

● 位置

[矩形] で設定した表示範囲の配置位置を設定します。

[位置切り替え] ボタン:

左上、中央上、…右下の方向を表します。セーフエリア([エリア選択] ボ タンで設定できます)の範囲でクリックした方向に詰めて配置します。複 数の方向を同時に選択することはできません。

[位置切り替え] ボタンをクリックして On の状態にした場合、[矩形] や [伸縮] の設定を変えても、常にその位置を保持します。On のボタンを再 びクリックすると数値入力で位置を設定することができます。この場合は、 タイムラインの幅、高さを基準にパーセント単位で設定します。

[エリア選択] ボタン:

基準エリアを [Underscan Area/Overscan Area/Titlesafe Area] から選択 します。



● 伸縮

タイムラインでの表示サイズを設定します。 [F] ボタン: 全体が入る最大の大きさに設定します。 [W] ボタン: 幅方向が入る最大の大きさに設定します。

[H] ボタン:

高さ方向が入る最大の大きさに設定します。

[F] ボタン、[W] ボタン、[H] ボタンは、最初のクリックでそのボタンの 基準方向の大きさに自動設定し、再びクリックすると手動入力(左側の数 値入力欄)ができます。パーセント単位で入力します。

[フレームアスペクトを保持する]: 手動入力の場合に、幅と高さ方向の同期をとります。

[ピクセルアスペクトを無視する]:

ピクセルアスペクトと無関係にピクセル等倍のマッピングをします。

[塗りつぶし]:

表示されない部分の色と不透明度を設定します。カラーサンプルをクリッ クすると[色の設定]ダイアログが表示されます。

[プリセット]:

[プリセットの保存] ボタンをクリックすると、設定内容をプリセットとして保存します。保存したプリセットはリストボタンをクリックすると選択できます。

[デフォルトとして保存] ボタン:

ボタンをクリックすると、現在の設定内容をデフォルトの設定として保存 します。

*変更前のデフォルトの設定は、アスペクト比を保持したまま、全体が 入る最大の大きさにする設定になっています。



レイアウト(クロップ)

1 - 41

8. エフェクト

8. エフェクト

トランジションの使用(クリップトランジション)

1 [Effect] パレットで選択したトランジションを、クリップの継ぎ目にドラッグします。



タイムラインの表示が次のように変わります。オーディオ部分にはデフォ ルトのオーディオクロスフェードが同時に追加されます。





その他の方法

1. トランジションを適用するクリップを選択します。



2. [Effect] パレットで使用するトランジションを選択し、右クリックメ ニューから [Timeline に追加する] を選択します。



3. 挿入する位置を「In 側 / Out 側 / 両方」から選択します。

4. トランジションの開始位置を「From/Center/To」から選択します。



〉 In 側 -From の場合



〉 In 側 -Center の場合



> In 側 -To の場合

参照

- オーディオ部分にデフォルトのオーディオクロスフェードを追加しないように設定するには「タイムライン」P3-5を参照してください。
- ・異なったトラック間にトランジションを設定する方法については「トラック間に使用(トラックトランジション)」P8-13を参照してください。
- トランジション上の緑のライン(カットポイント)は、トランジション 設定前のクリップの境目を示しています。詳しくは「トランジション」 P7-42の関連知識を参照してください。

リファレンス 参照



レイアウト(クロップ)

8. エフェクト

ホワイトバランス マイトバランス(W 初期値 初期値 初期値 0 a Cb: 0.0 Cb: 0.0 Cb: 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 -lue: 0.0 0.0 サチュレーション サチュレーション サチュレーション 100.0 100.0 100.0 0.0 0.0 0.0 効果範囲の Hue 幅 10.0 開始 165.0 終了 195.0 幅 10.0 💌 🚣 P ☑ サチュレーション(S) 幅 10 開始 30 終了 70 幅 10 🖾 ルミナンス(1) 幅 16 開始 64 終了 192 幅 16 ● ブラック(L) ● グレイ(B) ◎ ホワイト(H) ◎ 自動切替(A) ◎ 制限範囲(E) OK キャンセル BGWL 初期値(D)

[ホワイトバランス] ダイアログ

[ウィンドウスタイル変更] ボタン

● ブラックバランス / グレイバランス / ホワイトバランス

[初期値] ボタン:

各バランス枠のボタンを押すとそのバランスに関連するパラメータのみが 初期値に設定されます。ウィンドウスタイル変更ボタンの右隣のボタンを 押すと、すべてのパラメータが初期値に設定されます。



指定した範囲にのみホワイトバランスを適用します。チェックを入れると、 Hue (色相)、サチュレーション(彩度)、ルミナンス(輝度)に対して範囲 を指定できます。各欄に値を直接入力するか、三角形のスライダや格子、 斜線部分をドラッグして効果範囲を設定します。

[開始]から[終了]の範囲には補正量を100%適用します。[開始]/[終 了]から[幅]の範囲には徐々に補正量を変化させていきます。



[キー表示]ボタンを使用すると、[効果範囲の制限]の設定によりプレビュー中のどの領域に効果が出るのかを確認できます。効果が100%の領域は白、0%の領域は黒で表示されます。

[ヒストグラム表示] ボタンは、プレビューから計算したヒストグラムを、 [Hue]、[サチュレーション]、[ルミナンス] の各項目で表示します。

8. エフェクト

● カラーピッカー

カラーピッカーを使って Player や Recorder の表示画像から色を選択する ことができます。ブラックを指定した場合には、カラーピッカーで取得し た色が黒になるように調整します。同様にグレイでは灰色に、ホワイトで は白になるように調整します。自動切換の場合には、取得した色の明るさ から自動判定します。たとえば明るい色を取得したときに白に調整します。 [制限範囲] を選択し、プレビュー内の色をクリックするとその部分の画面 の色のみが制限範囲として選択されます。キーボードの [Shift] キーを押 しながらプレビュー内の色をクリックした場合は、現在の制限範囲に加え てその部分の画面の色も制限範囲に含めるように範囲が広がります。

[プレビュー]:

Recorder の画面を分割して、2つの画像を同時に確認できます。フィルタの効果がかかった状態とかかっていない状態の確認や、別クリップの別フレームと見比べることができます。

[ウィンドウスタイル変更] ボタン: ダイアログに表示する項目を切り替えます。

- Image: ブラックバランスだけを表示します。
- 🜀:グレイバランスだけを表示します。
- 🜃:ホワイトバランスだけを表示します。
- 🚺:すべてのバランス項目を表示します。
- 1 つのバランス項目だけを表示している場合に表示されます。元の 表示に戻します。

関連知識

ホワイトバランスの調整方法

まず、カラーピッカーでプレビューウィンドウ上にある色をクリックし、 色の情報を取得します。バランス枠に取得した色情報が表示されますので、 カラーサークルコントロールでバランスを調整します。調整によって他の 色に影響が出た場合は、Hue やサチュレーション、ルミナンスの順で調整 範囲を制限して調整していきます。



[ホワイトバランス] ダイアロク





9. カラーデータの確認

NEW! 9. カラーデータの確認

ベクトルスコープ/ウェーブフォーム

パソコンモニタで問題なく表示されている映像が、実際にテレビモニタで表示 した場合には不具合を生じることがあります。テレビモニタで表示させる場合 は、あらかじめ適切な映像信号に調整しておく必要があります。目視では分か らない映像信号の範囲を調整するため、ベクトルスコープ/ウェーブフォーム で測定します。ベクトルスコープは映像のカラーバランスを、ウェーブフォー ムは映像の明るさをそれぞれ画面全体の平均値で表示します。



[Select] ツール:

任意の Y 軸 (横方向) 位置の情報を表示します。 チェックボックスにチェックを入れ、[-] ボタンをクリックしてから、 タイムラインモニタのスクリーン上をカーソルで指定します。 座標を直接入力することもできます。

[Shade] ボタン: ベクトルスコープのカラー分布をドット表示にします。 [Line] ボタン: ベクトルスコープのカラー分布をドット間を接続したラインで表示します。 [Chroma] ボタン: ウェーブフォームに彩度を表示します。

[IRE] ボタン:

[Inten] スライダ:

ウェーブフォームに輝度を表示します。

モニタの輝度を調節します。

例えば、輝度が適切な範囲になっているかどうかをウェーブフォームで測 定することが出来ます。

タイムラインにカラーマットで作成した白いカラークリップを配置し、[ベ クトルスコープ/ウェーブフォーム] ダイアログで測定すると、IRE100 が 表示されます。



輝度が高い場合は、次のように表示されます。



この場合は、IRE を 0 から 100 の範囲に調整する必要があります。簡単に 調整するには、クリップにビデオフィルタのカラーバランスを適用します。 次にカラーバランスのプロパティを開き、セーフカラーにチェックを入れ るとクリップの IRE を 0 から 100 の範囲に自動調整します。

彩度②				***		0
算度(3)						0
エノトラストロン						0
					1942	 _
シアン	-	0		-	1.5K	0
242.49	-				カリーン	0
-ur	-				ブルー	0
120	-	-7182-	-(E)			
D-7/0-	2					50N

9. カラーデータの確認

黒いカラークリップの場合は、IREO が表示されます。IRE がマイナスになっている場合は、調整が必要です。



ベクトルスコープ/ウェーブフォームを表示していると CPU に負荷がかかりますので、必要なときだけ表示させるようにしてください。

リファレンス リファレンス参照



ベクトルスコープ/ウェーブフォームについては、「8. カラーデータの確認」P8-34 を参照してください。

10. ボリューム調整

オーディオミキサー

ボリュームの調整

全トラックのボリュームを調整するには、Master のフェーダを上下させます。

各トラックのボリュームを調整するには、各トラックのフェーダを上下させます。

レベルオーバーインジケータ

フェ- (オ	-タ -						×
Mas er	1 VA	2 VA	3 VA	1 A	2 A	3 A	4 A
	** **	** **	₩ ₩ ₩ +6	₽₹ ₽₹ ₽	₩ ₩ ₩	#1 #1 #1 +6	*† ¥† ¥† +6
	+3				+3		
	-6			-6			-6
<u>-12</u>	-12	-12	-12		-12	-12	-12
<u>-36</u>							
+0.0							
L L		なし	なし	k	なし	なし	
┃ [再生] フ	ボタン		[│ 動作設Σ	 [2] ボタ	~	

レベルメーター

レベルメーター: 左右独立したレベルメーターを表示し

左右独立したレベルメーターを表示します。ピークホールド機能は通常の 再生を行った場合に機能します。

レベルオーバーインジケータ:

レベルオーバーした場合に点灯します。クリックすると消灯します。

[再生] ボタン:

タイムラインカーソル位置からタイムラインを再生します。

[動作設定] ボタン:

ボタンをクリックすると表示されるメニューから、ラーニングモードを切 り替えます。





オーディオミキサ

- [Track]: トラックのボリュームを調整します。ラーニングは行いません。
- [なし]: オーディオミキサーは使用できません。
- [Latch]: ボリューム調整開始から再生停止までのラーニングを行い ます。
- [Touch]: ボリューム調整中のラーニングを行います。
- [Write]: 再生開始から停止までのラーニングを行います。以前のボ リューム値をすべて上書きします。

「ボリューム調整開始」とはフェーダをドラッグし始めたとき、「ボリューム調整中」とはフェーダをドラッグしてドロップするまでを意味します。 [Latch]、[Touch]、[Write]のどれかを設定している場合、再生を停止すると[なし]の設定に戻ります。

その他の方法

- フェーダは、キーボードのカーソルキーで調整することができます。
- ・左右のカーソルキーでトラックを選択します。
- 上下のカーソルキーを押すごとに1dBずつ変更されます。また、Shiftキー を押しながら上下カーソルキーを押すと0.1dBごとに変更されます。
- ・キーボードのカーソルキーの他に、マウスホイールでも同じ操作が可能です。

関連知識

フェーダの位置をリセットするには、オーディオミキサー上の右クリック メニューから [リセット] または [全てをリセット] を選択します。



関連知識

オプションのフェーダコントローラを使用してフェーダを操作することが できます。

使用方法は、製品付属のマニュアルをご覧ください。

形式の選択

1 Recorder の [Export] ボタンをクリックします。



2 [ファイルに出力]、または [ファイルに出力 (タイムコードを表示)] をクリックします。

[エクスポータの選択] ダイアログが表示されます。



[In/Out 間のみ出力する]:

チェックを入れると、タイムラインの In/Out 点間のみ出力します。

[オーディオを出力する]:

チェックを入れると、オーディオ部分も同時に出力します。多チャンネルのプロジェクトをエクスポートし、他社製のソフトウェアで使用する場合は、[16bit/2chで出力する] にチェックを入れてください。



[デフォルトとして保存] ボタン:

ボタンをクリックすると、[Export] ボタンから [デフォルトエクスポータ] を選択することができます。



3 出力するファイル形式に応じてエクスポータを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

以降は、選択したエクスポータによって手順が異なります。表示される画 面にしたがって、操作してください。

関連知識

出力するファイルのエクスポータがない場合や任意でファイルのパラメー タを設定する場合は、[Canopus ProCoder Express for EDIUS Wizard] を 選択してください。

FlashVideo エクスポータ

ご注意

FlashVideo エクスポータを使用するには、あらかじめ「Macromedia Flash MX」がパソコンにインストールされており、Macromedia 社の Flash Video Exporter が使用できる環境である必要があります。 「Macromedia Flash MX」、「Flash Video Exporter」につきましては、 Macromedia 社のマニュアル等をご覧ください。

リファレンス参照

- La M La Mila

ファイル形式の出力、およびエクスポータの選択については、「1.ファイ ル形式で出力」P11-2を参照してください。

1 [エクスポータの選択] ダイアログで [FlashVideo エクスポータ] を選択し、 [OK] ボタンをクリックします。

Canopus HQ AVIエクスポータ	_
Canopus Lossless AVI エクスポータ	
Canopus ProCoder Express For EDIUS Wizard	
DV AVI エクスポータ	
FlashVideo エクスポータ	
PCM AIFFエクスポータ	
PCM WAVEエクスポータ	
RGB AVI エクスポータ	
静止画エクスポータ	
非圧縮(YUY2) AVI エクスポータ	
非圧縮(UYVY)AVI エクスポータ	
☑ In/Out間のみ出力する(B)	
☑ 16bit/2chで出力する(Q)	
デフォルトとして保存(D) OK 3	キャンセル

[名前をつけて保存]ダイアログが表示されます。



リファレンス

参照

NEW!



2 ファイル名、および保存場所を設定し、[保存] ボタンをクリックします。



関連知識

[名前をつけて保存]ダイアログで[設定]ボタンをクリックすると設定 ダイアログを表示します。



* [Encoding Method] で、[Best(2 Pass)] を選択しても機能しません。

デッキ制御できる機器へ出力

リファレンス参照

「3. デッキ制御できる機器へ出力」P11-17 に記載されている出力方法は変更されました。

Generic OHCI の場合

1 Recorder の [Export] ボタンをクリックし、[テープに出力]、または [テー プに出力 (タイムコードを表示)] を選択します。



[テープ出力ウィザード] ダイアログが表示されます。

2 パラメータを確認し、[出力] ボタンをクリックします。









[テープ出力] ダイアログが表示され、タイムラインの再生と出力を開始します。最後まで出力すると[テープ出力] ダイアログが閉じます。



関連知識

- ・出力を中断するときは、[中止] ボタンをクリックしてください。
- ・タイムラインに In 点、Out 点の設定をしている場合は、その範囲を出 力します。

UPDATEI 9 ピン制御機器の場合



ご注意

- ・RS422A 端子に VTR が正しく接続されていないときは、VTR 操作ができません。
- ・VTR との同期があっていない場合は、書き出しに失敗することがあります。
- **1** Recorder の [Export] ボタンをクリックし、[テープに出力]、または [テー プに出力 (タイムコードを表示)] を選択します。



[テープ出力ウィザード] ダイアログが表示されます。

デッキ制御できる機器へ出力

2 出力先の VTR が接続されているリモート端子を選択し、[VCR 設定] ボタン をクリックします。

テープ出力ウィザード 出力先選択	
 RS-422 A RS-422 B 	VCR翻定
	次へ(N) ギャンセル(Q)

[VCR 定数設定] ダイアログが表示されます。リモート端子のそれぞれで設定可能です。

VCR定数設定
VOR ID() F133 VORに間(小合わせの) VOR Panasonic AJ-SD930 ・
エディットディレイ(E) 05 E-Eディレイ(D) 05
スタートディレイ(S) 07 VCRのデフォルト値をロード化)
OK(Q) 「キャンセル(Q) 通用(A)

[VCR ID]:

VTR Constant 1 byte1, byte2 が表示されます。 SONY 製 VTR では deck ID (model/mode が含まれる) が表示されます。

[VCR に問い合わせ] ボタン: [VCR に問い合わせ] ボタンをクリックすると、接続した VTR から VTR ID (deck ID) を読み込みます。

[VCR] :

VTR ID に該当する VTR 名を表示します (プリセットされている ID と VTR 名のみ)。同じ ID の VTR が複数登録されている場合はすべてを表示します。

● [VCR 定数]

[エディットディレイ]: VTR Constant 1 Byte 5 が表示されます。 プリセットに無い VTR の場合は手動で入力します。 **[E-E ディレイ]:** VTR Constant 1 Byte 6 が表示されます。

プリセットに無い VTR の場合は手動で入力します。

[スタートディレイ]: VTR Constant 2 Byte 2 (VTR によっては Data 10) が表示されます。プリ セットに無い VTR の場合は手動で入力します。

[VCR のデフォルト値をロード] ボタン: エディットディレイ、E-E ディレイ、スタートディレイをプリセットの値 で初期化します。

3 [VCR に問い合わせ] ボタンをクリックします。

[VCR] ボタンに VTR 名が表示され、[VCR 定数] に規定の値が入力されます。

- * 複数の該当機種がある場合は、リストボタンが表示されます。[VCR] ボ タンのリストボタンをクリックして VTR を選択します。
- **4** [VCR 定数] の値を確認し、[VCR のデフォルト値をロード] ボタンをクリックします。

* [VCR のデフォルト値をロード] ボタンをクリックしないと設定されません。

5 [OK] ボタンをクリックします。

[VCR 定数設定] ダイアログを閉じます。

6 [次へ] ボタンをクリックします。



7 パラメータを設定し、[次へ] ボタンをクリックします。



[アセンブル]:

テープ(タイムコード有り)に続けて追記します。

[ファーストエディット]:

テープ(タイムコード無し、または新規上書き)に書き出します。

[インサート]:

テープに追記(挿入)します。

[書き込み開始点]:

テープの書き込み位置を設定します。

[TC プリセット]:

アセンブルを選択、またはインサートを選択し、TC にチェックを入れた場合に、テープに書き込むタイムコードを設定します。

[調走精度]:

アセンブル、またはインサートを選択した場合にテープへ書き込むフレー ムずれの許容値を設定します。

Exact: ずれを許容しません。フレームずれが発生すると書き出しはできません。 Rough: フレームずれ± 1 を許容します。 「UB プリセット]:

ユーザーズビットを追加します。

[Regen] :

テープの Rec In 点で取得したユーザービットを、書き出しの開始点(プリ セット値)として設定します。 Sync Grade: Exact

8 パラメータを確認し、[出力] ボタンをクリックします。



テープ出力			_
			28%
残り時間:	46 秒	中止	

ブレビュー(R) 前へ(P) 出力(Q) キャンセル(Q)

関連知識

- ・出力を中断するときは、[中止]ボタンをクリックしてください。
- ・タイムラインに In 点、Out 点の設定をしている場合は、その範囲を出 力します。

12. Quick Titler

背景プロパティ

8

テキストのロール / クロール

タイトルの種類: ページ数: ビデオ酸定(V)

[タイトルの種類]: 静止:テキストを表示します。 ロール(下から):テキストを下から上に動かします。 ロール(上から):テキストを上から下に動かします。 クロール(右から):テキストを右から左に動かします。 クロール(左から):テキストを左から右に動かします。

-ILCENS

リファレンス参照

ītle

ロール、クロールについては、「テキストのロール / クロール」P9-24 を参照してください。

ご注意

以下の機能は、Quick Titler を単体で起動(スタートメニューから起動) した場合に有効になります。

ビデオ設定

[元に戻す] / [繰り返す] ボタン



[ビデオ設定]の設定は、[元に戻す]、[繰り返す]に対応しています。



背景プロパティ









12. Quick Titler

背景プロパティ

I-62

EDIUS

第2章

HDV キャプチャと出力/ MPEG キャプチャ

1. HDV 形式をキャプチャ

HDV 形式は、HD 映像を DV テープで録画、再生する規格で、DV 形式と同じデータ 量にするため、MPEG2 技術を利用して圧縮しています。HDV はキャプチャ時、 MPEG-TS 形式で映像をパソコンに出力します。

EDIUSはMPEG-TS形式のファイルをそのままクリップとして編集することができ ますが、タイムラインのプレビュー時にパソコンの動作が重くなることがあり ます。あらかじめ MPEG-TS 形式のファイルを HQ AVI ファイルに変換しておくと、 編集をより軽快に行うことができます。

HQ AVI ファイル形式は、HD 画質を高画質(HDCAM と同等以上)のまま軽快に編 集できる Canopus HQ Software Codec で圧縮したファイル形式です。

動作環境

ご注意

参照

HDV 映像を、HQ AVI ファイルとしてキャプチャするには、HQ キャプチャ機能 (Canopus HQ Software Codec を使ったリアルタイム・トランスコードキャプ チャ機能)が便利です。HQ キャプチャを行うには、推奨以上の動作環境が必要 です。

動作環境 (CPU スペック)

```
DV/SD MPEG 編集の場合
最低: Intel Celeron 1.7GHz 以上
推奨: Pentium 4 2.4GHz 以上
HDV 編集の場合
最低: Intel Pentium 4 3.0GHz (Hyper-Threading 対応) 以上
推奨: Intel Pentium D (デュアルコア、EM64T)
推奨: Intel Xeon 2.80GHz (Hyper-Threading 対応) x2
```

ご注意



HDV 機器をパソコンに接続する場合は、汎用 OHCI に接続してください。当 社製 DV 編集システムの DV 端子は、DV 機器専用の接続端子ですので、この 端子に接続して使用することはできません。

参照



HQ キャプチャが行えない場合は、HDV キャプチャと HQ AVI ファイルへの変換を分けて行ってください。詳しくは、「HDV キャプチャと HQ AVI ファイル変換」P2-6 を参照してください。

HQキャプチャ

1 DV ケーブルで、パソコンの IEEE1394 端子と HDV 機器を接続します。HDV 機器 は、ビデオモード (PLAY/EDIT 等) にしておきます。



関連知識

お使いの HDV 機器により、HDV モードに設定する必要があります。設定方 法については HDV 機器の取扱説明書をご覧ください。

2 EDIUS を起動し、[NewProject] をクリックします。



3 プロジェクト名を入力します。



- **4** [出力デバイス] で、[Generic OHCI Output] を選択します。
- **5** [プリセットの一覧] で、[HDV 1080/60i] を選択し、[0K] ボタンをクリックします。
- **6** Player の [チャンネル/ファイルの選択] ボタンをクリックし、[Generic HDV-Input] を選択します。

G EDIUSPro	
	ファイルを閉く
-	Generic HDV – Input Generic OHCI – Input DVStorm-RT – DV DVStorm-RT – BackPanel
	入力設定
	MPEGキャプチャ

[入力設定] ダイアログが表示されます。

7 [入力デバイス] で、[Generic HDV-Input] を選択します。

入力設定	
入力デバイス型	使用可能なプリセット(2)
Generic HOV - Input	Canapus HQ 1000/60i
Generic OHCI - Input 16	Canopus HQ 1080/50i
DVStorm-RT - DV DVStorm-RT - BackPanel	Canopus HD 720/30p
	Canopus HQ 576/50p(25p)
11:11	
ビデオ設定	
4-7-4159	
自動中國項目和功率才。	
103 TH-18/100 T-10 TH-	
HOLE IN AVIAGE AND AVIA	at the fact of concerning fact
	01 A-275
8 [使用可能なプリセット] で [Canopus HQ1080/60i] を選択し、[OK] ボタン をクリックします。

EDIUS の Player から HDV 機器を操作できるようになります。

9 デッキコントロールボタンでキャプチャの開始点を表示させ、[キャプ チャ] ボタンをクリックします。



[キャプチャ] ボタン

キャプチャを開始します。[キャプチャ]ダイアログが表示されます。

キャフチ	*	×
	キャプチャ中 00:00:03;14	
	Stop	

10 キャプチャを終了するところで、[Stop] ボタンをクリックします。

キャプチャを停止し、ビンにクリップが登録されます。キャプチャしたファ イルはプロジェクトフォルダに保存されます。

リファレンス参照

キャプチャ時にファイルを自動的に分割できます。分割条件の設定については「デッキ設定」P3-10を参照してください。





関連知識

バッチキャプチャ機能は、タイムコードが取得できる機種のみに対応して います。機種によっては、タイムコードに対応していないものがあります。

HDV キャプチャと HQ AVI ファイル変換

1 DV ケーブルで、パソコンの IEEE1394 端子と HDV 機器を接続します。HDV 機器 は、ビデオモード (PLAY/EDIT 等) にしておきます。



関連知識

お使いの HDV 機器により、HDV モードに設定する必要があります。設定方 法については HDV 機器の取扱説明書をご覧ください。

- **2** [スタート] メニューから [すべてのプログラム] を開きます。
- **3** [Canopus]から [MPEGcapture] に進み、[MPEGcapture] をクリックします。



[MPEG Capture] ダイアログが表示されます。

4 [保存] ボタンをクリックし、保存先とファイル名を指定します。



- **5** [デバイス]で、[Microsoft AV/C Tape Subunit Device] を選択します。
- **6** [入力] で、[IEEE 1394] を選択します。

デッキコントロールボタンがアクティブになります。

デッキコントロールボタン



7 [設定] ボタンをクリックします。



[録画詳細設定] ダイアログが表示されます。

8 [キャプチャ] タブで、[トランスポートストリーム] にチェックを入れ、 [OK] ボタンをクリックします。

ーキャノチャイ理がリームで	デフォルト(D) 元に戻す(B)
 ● プログラムストリーム(E) ● Canopus HQ AVI(<u>A</u>) 	
- Canopus HQ CODEC設定	
● Fine(<u>F</u>)	
0 4 1 9	
Max size min 📕 max 📴	

9 デッキコントロールボタンでキャプチャの開始点を表示させ、[キャプチャ /停止] ボタンをクリックします。



[キャプチャ/停止] ボタン

[キャプチャ] ボタンが [停止] ボタンに切り替わります。

- 10 キャプチャを終了するには、[キャプチャ/停止]ボタンをクリックします。
- **11** [OK] ボタンをクリックします。
- 12 [閉じる] ボタンをクリックします。



続けて、キャプチャしたファイルを変換します。

13 [スタート] メニューから [すべてのプログラム] を開きます。

14 [Canopus] から[ProCoder Express for EDIUS]に進み、[Canopus ProCoder Express For EDIUS] をクリックします。



[Canopus ProCoder Express For EDIUS] ダイアログが表示されます。

15 [特定のファイルのフォーマットを変換する] にチェックを入れ、[次へ] ボタンをクリックします。



16 [選択] ボタンをクリックし、先ほどキャプチャしたファイルを指定しま す。[次へ] ボタンをクリックします。



17 [目的で選択する] にチェックを入れ、[次へ] ボタンをクリックします。



18 [HD(High Definition)] にチェックを入れ、[次へ] ボタンをクリックします。



19 [Canopus HQ] にチェックを入れ、[次へ] ボタンをクリックします。



20 [1080i NTSC(1080 ライン,60i)] にチェックを入れ、[次へ] ボタンをクリックします。

Canopus ProCode	r Express For EDIUS
	カノーフス HQ HDフォーマット
	#IRC#& HO 29-29177#.
	7#~974d1@#
	0 1000 NTSC(1000 54(), 602
6	● 1000 F46,0000 54/2,500

21 ファイルの保存場所、ファイル名を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

Canopus ProCode	r Express For EDIUS
	ターゲットファイル名の設定
6	Prome Server 12 10月、2014年12日においた「1000年12日」 Prome Server 12 10月、2014年12日まで3054年1 Prome Server 12 10月、2014年12 10月、2014年1 Prome Server 12 10月、2014年12 10月、2014年12 Prome Server 12 10月、2014年12 10月、2014年12 10月、2014年12 Prome Server 12 10月、2014年12 10月、2014年12 10月、2014年12 Prome Server 12 10月、2014年12 10月、2014年
	7-168770-8847846, 187, 4751 • 18770-0

22 [詳細設定] ボタンをクリックします。



ダイアログが表示されます。

23 [上位フィールドが先] になっていることを確認します。[閉じる] ボタン をクリックします。



24 [変換] ボタンをクリックします。



変換を開始します。

25 [次へ] ボタンをクリックします。



1. HDV 形式をキャプチャ

26 [終了] ボタンをクリックします。

	変換終了 ProCode Equations for ECOLDS 他们确认为思想的历史为公式以来让此。
6	29258 8-77.10 W30 1980 1460-1980

録画詳細設定ダイアログ(HDV キャプチャの設定)

● [キャプチャ] タブ

錄画詳細設定	$\overline{\mathbf{X}}$
キャプチャ 一般 オーバーレイ オーバースキャン 情報	
「キャプチャ種別」	デフォルト(D)
 プログラムストリーム(P) 	- ALCOR Y US
Canopus HQ AVI(<u>A</u>)	
Canopus HQ CODEC設定	
Fine(<u>F</u>)	
Standard(S)	
Custom(©)	
Q 4 4	
Max size min max 30	
OK	キャンセル

[キャプチャ種別]: ストリーム方法を選択します。

• Canopus HQ CODEC 設定

[Fine]:

最も高画質な設定ですが、ファイルサイズも大きくなります。高画質の取 り込みが必要な場合に選択します。

[Standard]:

通常はこの設定で十分な画質を得ることができます。

[Custom]:

チェックを入れると、[Q]、[Max size] を調節することができます。

[Q]:

画質を調節します。少ないほど高画質になります。

[Max size]:

最大ビットレートを調節します。ノイズの多い画像はファイルサイズが不 用意に大きくなる場合がありますが、これを制限するように設定ができま す。設定値 [100]% は、コーデック圧縮前と同じビットレートを表します。 たとえば、1440 × 1080 60i で、100% は約 750Mbps です。この上限を 200Mbps に制限する場合は [27]% に設定します。

[デフォルト] ボタン: 初期値にします。 [元に戻す] ボタン: 変更前の設定に戻します。

● [一般] タブ



[キャプチャ時間]:

キャプチャを行う時間を設定します。

[キャプチャの時間制限]:

[キャプチャ時間] で設定した時間でキャプチャを停止します。

[ストリームの不連続を厳密にチェックする。]:

テープ再生中のノイズ等によるストリームの乱れも不連続として検出します。

[キャプチャ中に不連続なストリームを検出した場合、続けて次の キャプチャを行う。]:

キャプチャ中に不連続なストリームを検出した場合、キャプチャを停止せ ず、新しいファイルを作ってキャプチャを続けます。

[デフォルト]ボタン: 初期値にします。

[元に戻す] ボタン: 変更前の設定に戻します。

1. HDV 形式をキャプチャ

● [オーバーレイ] タブ



[効果]:

設定にかかわらず、HDV カメラの仕様に準じます。

[画質]:

オーバーレイの画質を調節します。キャプチャデータ(ファイル)には影響しません。

[**デフォルト] ボタン:** 初期値にします。

[元に戻す] ボタン: 変更前の設定に戻します。 ● [オーバースキャン] タブ



[無効領域幅]:
 オーバーレイのオーバースキャンを調節します。キャプチャデータ(ファイル)には影響しません。
 [デフォルト]ボタン:
 初期値にします。
 [元に戻す]ボタン:
 変更前の設定に戻します。

●[情報] タブ



[バージョン情報]: プラグインのバージョン情報を表示します。

2. 用途に応じた推奨コーデック

推奨コーデック

用途に応じてコーデック(CODEC)を選択してください。自動でコーデックは設 定されません。

オプションの有無によって表示されるプリセットは異なります。また、プリセットによって選択できるコーデックが異なります。

推奨コーデック	用途
Canopus HD	DVCProHD
Canopus SD50	DVCPro50
Canopus DV	DV AVI
Canopus HQ	HDCAM, HDV(1080i/720p)
Canopus Lossless	高画質、CG 合成等(可逆圧縮)

出力デバイスを当社製品に設定した場合

推奨コーデック	プリセット	用途
Canopus HD	HD 1280x1080/60i	DVCProHD 59.94i
Canopus HQ	HD 1440x1080/60i	HDCAM 59.94i, HDV 1080/59.94i
Canopus HD	HD 1440x1080/50i	DVCProHD 50i
Canopus HQ		HDCAM 50i, HDV 1080/50i
DV AVI	DV (NTSC/PAL)16:9/4:3	DVCAM/DV
非圧縮 YUY2	D1 (NTSC/PAL)16:9	Digital Betacam(16:9 撮影)
非圧縮 YUY2	D1 (NTSC/PAL)4:3	Digital Betacam, IMX
Canopus SD50		DVCPro50

*お使いの製品(出力デバイス)により選択できるコーデックは異なります。

推奨コーデック	プリセット	用途
Canopus HQ	HDV xx/xx	HDV 1080i/720p Specification
Canopus HD	DVCProHD1080/xx	DVCProHD
Canopus SD50	DVCPro50 xx	DVCPro50
DV AVI	DV NTSC xx	DVCAM
	DV xx/30p	SONY プログレッシブ撮影可能機種
	DV xx/24p/24pA	Panasonic AG-DVX100

出力デバイスを [Generic OHCI Output] に設定した場合

*製品名は一例です。

推奨コーデック

2-19

3. HDV 形式を出力

3. HDV 形式を出力

編集結果を HDV 機器へ出力する形式 (MPEG-TS 形式)に変換し、変換したファイ ルを HDV 機器へ出力します。

MPEG-TS 形式のファイルを出力

- Recorder の [In 点の設定」ボタン、および [Out 点の設定] ボタンで、出力 範囲を設定します。
- **2** [Export] ボタンをクリックし、[ファイルに出力] を選択します。



[エクスポータの選択] ダイアログが表示されます。

3 [Canopus ProCoder Express For EDIUS Wizard] を選択し、[OK] ボタンを クリックします。

クス	ポータの選択
08 08	nopus HD AVI エクスポータ nopus Lossless AVI エクスポータ
PO	noput ProCoder Express For EDIUS Wisard M AIFFエクスポータ
PC	M WAVEIDJ#-9
HQ:	48 AVI エクスホータ 止重エクスポータ
非	圧縮(YUV2) AVI エクスボータ
L	
6	3 h/02間のみ出力する(2)
Ę	☑ オーディオ&出けつ#16(A)
	☑ 16ba (3cb)(2出7)(15-1)
7	2#ルトとして保存(2) OK 🔥 キャンセル

Canopus ProCoder Express For EDIUS が起動します。

4 [目的で選択する] にチェックを入れ、[次へ] ボタンをクリックします。



5 [HD(High Definition)]にチェックを入れ、[次へ]ボタンをクリックします。



6 [MPEG-2] にチェックを入れ、[次へ] ボタンをクリックします。

1	HD形式
	HDHieh Grinnerがイズの構像を行われます。フォーマットもよのひちのら違んでくだちに、
	HD2#一マットを確認してにされ、
	OWEGE
(AGA)	Canque HD Windows Media
-	
6	

7 ご使用のHDV機器に合わせてMODE2、またはMODE1を選択し、[次へ]ボタンを クリックします。



関連知識

フォーマット [HDV MODE2 ...] はソニー製機器に、 [HDV MODE1 ...] はビ クター (JVC) 製機器に対応しています。

8 ファイルの保存場所、ファイル名を設定し、[次へ]ボタンをクリックします。

	作らの第一回から、18、20、20、20、20、20、20、20、20、20、20、20、20、20、
(A)	(S4Decuments and Settings#Administratur#My Documents)
	0
	ファイルがするこ年なする場合、上巻きにますか? 〇 上巻きするの

9 ジョブ概要を確認し、[変換] ボタンをクリックします。



ファイルが出力されます。出力には、再生時間の3~8倍の時間が必要です。

Canopus Pro	Coder Express For	EDIUS
	_	16 %
オーティオ 📃	00 : 00 : 13	1 10 %
推定時間	00:01:26	

関連知識

設定を変更する場合は、「詳細設定」ボタンをクリックします。



通常はデフォルトの設定で問題ありません。



10 DV ケーブルで、パソコンの IEEE1394 端子と HDV 機器を接続します。HDV 機器 は、ビデオモード (PLAY/EDIT 等) にしておきます。

関連知識

お使いの HDV 機器により、HDV モードに設定する必要があります。設定方 法については HDV 機器の取扱説明書をご覧ください。 11 EDIUS マークをクリックし、[ツール]から[MPEG TS Writer]を選択します。



[MPEG TS Writer] ダイアログが表示されます。

その他の方法

ビンウィンドウの[ツール]ボタンから、[MPEG TS Writer]を実行できます。

12 [デバイス] で、[Microsoft AV/C Tape Subunit Device] を選択します。



13 [追加] ボタンをクリックし、先ほど出力したファイルを選択します。

ボタン

	「追加」
MPEG TS Writer	
ファイルリスト	
D¥capture m2t	
<u>7)112</u>	

[デバイスに記録する] ボタン

14 [デバイスに記録する] ボタンをクリックします。

出力を開始します。

15 [OK] ボタンをクリックします。

MPEG T	S Writer 💌
(į)	正常に完了しました。
	ок

16 [閉じる] ボタンをクリックします。

MPEG TS Writer	
771/11/21	
D Room Britle of	+
デバイス	
Microsoft AV/C Tape Subunit Device	
[閉じる]] ボタン

関連知識

[デバイスに記録せず出力する] ボタンをクリックすると、HDV カメラのコンポーネント出力から映像を出力します (テープには記録されません)。

🗯 MPEG TS Writer	
ファイルリスト	
15205.2	- E
デバイス Minsonalt AV/C Tana Suburit Davide	
Microsoft NV70 Tape Suburit Device	
	າ-ເ 🕖

[デバイスに記録せず出力する] ボタン

4. MPEG キャプチャ

MPEG 形式でキャプチャを行います。

動作環境

MPEG キャプチャは次の当社製品でご使用になれます。

- ・ MTV シリーズ (ハードウェアエンコード機能搭載機種のみ)
- ・ MTU シリーズ
- MVR-D2000
- DigitalVideo Recorder (EMR100)

MPEG Capture

1 Playerの[チャンネル/ファイルの選択]ボタンをクリックし、[MPEG キャ プチャ]を選択します。

G EDIUSPro	
	ファイルを閉く
	Generic HDV – Input Generic OHCI – Input DVStorm-RT – DV DVStorm-RT – BackPanel
	入力設定
	MPEGキャプチャ
	7

[MPEG Capture] ダイアログが表示されます。

2 [保存] ボタンをクリックし、保存先とファイル名を指定します。

MPEG Capture	
Rec 00:00:00:00 Ply 00:00:00 Dur 00:00	3:00:00
	-6
デバイス(D) MTV Series	
入力印 TV	
チャネル(出) 8 📩	
ファイル名(E) C:¥Documents and Settings¥owner¥My	Docum
	<mark> </mark> - ギ タン・

- **3** [デバイス]で、使用するデバイス(例:MTV Series)を選択します。
- 4 [入力] を選択します。

4. MPEG キャプチャ

5 [設定] ボタンをクリックし、キャプチャの設定を行います。

[キャプチャパラメータの設定] ダイアログが表示されます。



6 プレビューを確認しながら、タイミングを見計らって [キャプチャ/停止] ボタンをクリックします。

[キャプチャ] ボタンが [停止] ボタンに切り替わります。

[キャプチャ/停止] ボタン



関連知識

[早戻し]から[停止]間でのボタンは機能しません。



7 キャプチャを終了するには、[キャプチャ/停止]ボタンをクリックします。

[キャプチャ/停止] ボタン



8 ファイル名を確認し [ファイル保存] ボタンをクリックします。



9 [閉じる] ボタンをクリックします。



設定ダイアログ(製品により異なります)

アプリケーション設定

● タイマー設定



[キャプチャの時間設定を行う]: キャプチャを行う時間を設定します。設定した時間でキャプチャを停止し ます。

MPEG エンコード設定

● 全般



[プロパティ]: 現在の設定内容を表示します。 [読み込み]ボタン: 設定を読み込みます。 [保存]ボタン: 設定を保存します。

● 簡易設定



[簡易設定]: エンコードのプリセットを選択します。 [カスタム設定]にチェックを入れると、任意の設定値を設定できます。

• MPEG



[エンコード形式]: MPEGのエンコード形式を選択します。 MPEG1/MPEG2エレメンタリストリームを選択すると、ビデオまたはオーディ オを単独でエンコードできるようになります。

● エンコードが間に合わない場合に一時バッファを作成する

バッファを使用するかどうかを選択します。

[テンポラリファイル保存用のディレクトリ]: テンポラリファイルを保存するディレクトリを指定します。[参照] ボタン をクリックし、ディレクトリを選択することができます。 ● ビデオ設定

be a constant of the second	0
 アリークス相差 MFSL 2-42度 MFSL 2-42度 使用 使用 サイト サイト	67488
	Stills: Comp Q vany Chi-+Ry ↓ ↓ Show ↓ ↓
	###(XQ) (30) (30)
	OK

● 基本設定

[エンコード形式]:

ビットレートのコントロール方法を設定します。 [CBR] を選択すると、ビデオのビットレート値をほぼ一定に保ちます(固 定ビットレート)。[ビットレート]にビットレートの平均値を入力します。 [VBR] を選択すると、ビデオのビットレート値が変動します(可変ビット レート)。[ビットレート]にビットレートの平均値を、[最大]に上限値

● 詳細設定

[GOP パターン]:

を入力します。

[IBBP] を選択すると、前後のピクチャを参照して映像を構成します。[I Frame] を選択すると、前後のフレームを参照することなくフレーム単位で 映像を構成します。[I Frame] を選択するとデータサイズが大きくなるた め、通常は [IBBP] を選択してください。

[IBBP] を選択した場合、ピクチャ枚数と周期、Closed GOP が設定可能となります。

[ピクチャ枚数]:

ひとつの GOP に含まれるフレームの数を設定します。

[周期]:

ひとつの GOP に含まれる I、または P フレームの間隔を設定します。[周期の自動設定]にチェックを入れると、自動的に最適な周期を設定します。

[Closed GOP を使用する]:

チェックを入れると、各 GOP 内で情報が完結します。ただし圧縮効率が低 下するため、Closed GOP 構造の MPEG ファイルを GOP 単位で編集する場合 のみチェックを入れます。

[プロファイルとレベル]: プロファイルとレベルを選択します。この項目は、MPEG2 を作成する場合 に選択可能となります。 [画像サイズ]:

1 画面を構成するピクセル数を設定します。大きいほど解像度は高くなります。

● オーディオ設定

 ・ デフリカーシンご教室 ・ MFEGIC-2-F教室 全計 取品状室 MFEGI ドブ・社会 ボブンムン ・ バードウンジ科室 	1-71182	
	をすれて サンプルクレートロ 形式(日) ビットレート(日)	All EMP C Lappe C C Set Maps
	Freditz fv4A(Q): Z\>7YF/A(Q): T059506(Q) T059506(Q) T059506(Q) T05754(Q) T05754(Q) T05754(Q) T05754(Q) T0575	2914

● 基本設定

[サンプリングレート]:

オーディオ信号の標本化周波数を選択します。MPEG2 を作成する場合は 48 k Hz、MPEG1 やオーディオ CD、VideoCD を作成する場合は 44.1 k Hz、デー 夕量を少なくする場合は 32 k Hz を選択することをお勧めします。

[形式]:

オーディオの圧縮形式を選択します。

[ビットレート]:

オーディオの1秒あたりのビット量を選択します。

詳細設定

[チャネル]:

L チャネルと R チャネルにある程度相関がある場合は [ステレオ]、1 チャ ネルだけのオーディオ信号を記録する場合は [モノラル]、各チャネルに まったく別の音を記録する場合は [デュアル]を選択します。

[エンファシス]:

高音域を強調します。

[プロテクション]:

チェックを入れると、コピー禁止のヘッダーを追加します。

[オリジナル]:

チェックを入れると、オリジナルデータであることを示す情報を記録します。

[コピーライト]:

チェックを入れると、データに著作権があることを示す情報を記録します。

4. MPEG キャプチャ

● オプション

プリケーシェン教室	オプション
- MPEGIC/J-FERE	r120-F東行モーF(動き税業)
至积 税易款定	◎ 建浆果无切
NPEG EF71BUT	◎酒買換先♡
オーディオな変 モデンフォー ハードウェアは定	◎面質単連元◎
	O 白約面別調整()
	13/0-F210F0優先度
	◎ 後先常 南田
	O @2.2 1899
	◎ 操充度 低份
	O REZ AGO
	21-5230-59-
	 先後000PD08シーケンスへックも記載①
	● すべての00円に対してシーケンスへっ方を配置の
	● ねをした物味のののれに対してシーケンスヘッグを記載金 「「「「「」」

[エンコード実行モード(動き検索)]:

エンコードの優先項目を選択します。[自動画質調整]を選択した場合、CPU の負荷に応じて画質を自動的に調整します。

[エンコードスレッドの優先度]:

エンコードスレッドの優先度を選択します。

[シーケンスヘッダ]:

シーケンスヘッダを配置する場所を選択します。[指定した間隔の GOP に対してシーケンスヘッダを配置]にチェックを入れると任意の間隔が設定できます。

4. MPEG キャプチャ

canopus



※本書は、再生紙(古紙率100%)を使用しています。